

 教育・ゼミ運営の効率化と研究の高度化 導入前の課題

- 個人PCでは大規模データ処理が困難（利用可能メモリは数GB程度）
- 学生ごとのPC環境の違いにより、授業運営やサポートの負担が大きい
- 演習から研究までを一貫して支える計算基盤がない
- 計算資源の制約により、研究テーマの自由度や挑戦性が制限される

 Academic Cloud で得られた効果

- 全学生が同一のクラウド環境をすぐに利用可能
- CPU・GPU環境の構築・管理負担を大幅に削減
- 高性能計算が必要な研究テーマにも挑戦可能
- 演習から研究発表までを同一基盤で一貫して運用